

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1967
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.60, No.3 (1967. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670301-0104

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

無責任時代が云々されてすでに久しい。最近の大臣諸侯や役人の諸行
状はいよいよよばず、自動車運転者の無謀さも、またかまたかといつし
かわれわれの感覚をも麻痺させるほどである。道路、安全設備の不備と
いった政治の貧困は別として、運転者の責任意識の低下は弁護の余地が
ない。しかし例を他にとるまでもなく、この雑誌に執筆する諸兄の執筆
状況は責任あるものといえるであろうか。研究と原稿に追われ、授業と
教育に多くの時間をさき、はたまた何々委員会と雑事に追い廻されてい
るわれわれにとって、原稿締切期日に約束を果すということはなかなか
容易なことではない。急に仕事がふえたから、突然の出来事にあったか
ら、責任ある原稿がまとまらなかつたから、など理由はどうあれ、二、
三ヶ月の余裕をみて執筆の依頼をし、いやしくもそれに諾の約束をした
以上、数日のすればあろうとも約束の期日に原稿を提出することは執筆
者としての義務であり責任のあるところである。いわんや期日が過ぎて
から原稿が完成せず次回に延ばしてくれなどと一言の電話、一枚の葉書
で断るなど、例えてみればひき逃げに等しき無責任さである。とりわけ
この雑誌は経済学会に所属するすべてのものに参与するものであれば、
より慎重な計画のもとに執筆の諾否を決め、一たび諾を与えたからには
最大限の責任をもつて投稿すべきものと考える。原稿遅延のため係りの
方にいつもシワ寄せがいくのは同情にたえない。

(富田)

昭和四十二年三月一日発行

◎三田学会雑誌 第六十卷

第三十三号

定価 二〇〇円(送料二二円)

編集兼
発行人

慶應義塾経済学会
代表者 遊部 久藏

電話三田(453)二一一一
振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 図書印刷株式会社
木山 康夫

半カ年予約購読料(送料共) 一二〇〇円
一カ年 " " 二四〇〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所 東京都高輪局区内三田網町一一番地
慶應 振替口座番号 東京一五五四九七 信